

研究指導の概要

■大学体育スポーツ高度化共同専攻

【課程：3年制博士課程】

学年	学期 モジュール		研究内容及び指導方法等					
	博士論文の 進行状況	その他の 進行状況	授業※を通しての指導	個別指導	専攻としての取り組み			
1 年次	春	A	博士論文研究計画立案		博士論文の研究計画を立案する。			
		B		実践的研究論文執筆	博士論文の研究計画を具体化する。	実践的研究論文の執筆を開始する。		
		C				実践的研究論文の執筆を推進する。	研究報告会等を実施して研究内容を再評価し、明確化させる。	
	秋	A			博士論文の研究計画を推進する。	実践的研究論文の執筆をさらに推進する。		
		B			博士論文の研究計画をさらに推進する。	実践的研究論文の投稿版を完成させる。		
		C		論文投稿		実践的研究論文を投稿する。QE※の準備をする。	研究報告会等を実施して研究内容をさらに明確化させる。	
2 年次	春	A	博士論文執筆	論文修正・QE実施	博士論文の執筆を推進する。	実践的研究論文の修正に取り組む。QEの申請をする。	QEを5月以降に随時実施する。	
		B		QE実施・論文修正		実践的研究論文を完成させる。		
		C		構成論文執筆	構成論文の執筆を開始する。	研究報告会等を実施して研究の進捗状況を確認する。		
	秋	A		QE実施	博士論文の執筆をさらに推進する。	構成論文執筆・	構成論文の執筆を推進する。	
		B					構成論文の投稿版を完成させる。	
		C					QE実施・論文投稿	構成論文を投稿する。
3 年次	春	A	論文修正		博士論文の完成を目指す。	構成論文を洗練させる。		
		B				構成論文を完成させる。		
		C				予備審査会に向けて、博士論文を完成させる。予備審査の申請を行う。	研究報告会等を実施して、予備審査会に向けての準備状況を確認する。	
	秋	A		審査会の準備と実施・博士論文修正			予備審査会の準備をする。	
		B					本審査会の申請をする。	予備審査会を行う。
		C					本審査会の準備をする。	本審査会を行う。

※1 大学体育論（必修）、体育スポーツ実践的研究方法論（必修）、大学体育研究演習（選択必修）

※2 博士論文研究能力審査